

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく 令和 4 年度の実施状況について

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針 6 市役所の率先行動	34 頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1)基本方針6 市役所の率先行動

局・統括本部ごとの取組実績等

市民局

- 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 1.3%減の 2.6 万トンとなりました。
- 2022(令和4)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 7.1%増の 567TJとなりました。
- 2022(令和4)年度は、西公会堂や鶴見駅西口行政サービスコーナー等で LED 等高効率照明を導入し、LED 化率は 78%となりました。
- 南区総合庁舎や金沢区総合庁舎など21施設に太陽光発電設備を導入しています。加えて、緑区総合庁舎において、再生可能エネルギーを地産地消し、施設の温室効果ガス排出を抑制することを目的として、PPA による太陽光発電設備を導入し、2024(令和6)年3月に電力供給を開始する予定です。
- 2022(令和4)年度は、一般公用車 523 台のうち、28台に次世代自動車等を導入し、合計 299 台となりました。
- 職員の取組として、会議等においてはプロジェクターを活用するペーパーレスの取組、全職員を対象とした環境研修受講による温暖化対策の取組への理解促進、グリーン購入の推進を実施しました。

<温室効果ガス排出量の状況> (単位:万 t-CO₂)

基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
2.7	2.6	2.4	2.6	▲1.3%

<エネルギー消費量の状況> (単位:TJ)

基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
	実績	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
530	567	550	573	567	7.1%

<公共建築物の新築・改修等における取組(LED 等高効率照明の導入状況)>

全灯数 (2022 年度)	LED 等高効率照明の導入割合の推移			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
313,908	73%	74%	76%	78%

<再エネの導入拡大に向けた取組(太陽光発電設備の導入状況)>

設置済施設数(2022 年度) : 21 施設

<公用車における取組(一般公用車における次世代自動車等の導入状況)>

一般公用車の 台数 (2022 年度)	次世代自動車等の導入割合の推移			
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
523	39%	47%	52%	57%

※2022年度の次世代自動車等の台数 EV:53台、PHV:5台、FCV:11台、HV:230台